Clover Newsletter
クローバーだより
2026年
10月号

災害に備える！

ヘルパー部門、机上訓練実施

もし大規模な災害がおきたら、私たちはどう動くのか？近年【業務継続計画】(BCP)の重要性が高まっています。BCP とは、自然災害や感染症の拡大といった緊急事態に直面した際、被害を最小限に抑えながら重要な業務を続け、早期に復旧させるための計画のことです。

私たち介護事業所においては 2024 年 4 月より BCP の策定が義務化されており、クローバー・サービスも【自然災害時】と【感染症】に分け、策定しています。

▶BCP を活用した机上訓練

デイサービスや介護施設ならば、職員の誘導によって避難をするための訓練も可能ですが、利用者宅を 1 人で訪問するヘルパーは、災害等に直面した時、家の立地、利用者の状況等によって、対応方法は様々、ヘルパーそれぞれが、自分ならどのように行動するのか？考えてもらうべく、月に 1 度開催しているヘルパー会議にて訓練を実施しました。

【大地震を想定した机上訓練】(設定内容)

平日の午前 10 時半、京丹波町で震度 5 強の地震が発生したと想定、スマホは回線が混雑し、電話もつながりにくい。一部地域ではすでに停電・断水が発生。現在ヘルパー3 人が活動中、ヘルパー2 人が移動中。という具体的な設定で以下 4 つのポイントを確認・議論。

① ヘルパーの安否・所在確認

電話がつながりにくい状況では、LINE などの SNS を活用したり、災害用伝言ダイヤル(171)を活用するなどの方法がある。

② 利用者の安全確認の優先順位

「独居で認知症がある方」「避難所まで歩けない方」など、誰の確認を最優先になるか？を話し合い、近所の方や地元消防団とも連携をとりながら安否確認を行っていくことを伝えた。

また、BCP のマニュアルには、利用者状況(身体状況や、既往歴など)もまとめており、それに応じて優先順位を決めていくことを確認した。

③ サービスの継続・中止判断

「食事や排泄・服薬介助が必要な人」だけに絞り、「掃除や買い物」のサービスは中止にする。また、家族や支援者が対応できるところは対応を任せるなど、ヘルパー自身も被災する中、サービスを継続していく方法を確認した。

④ 緊急避難場所の確認

自身の住む地域の避難場所を確認したうえで、自分の担当する利用者の地域はどこが避難場所になっているのか？なども話し合った。

自然災害はいつどこでおきるかわかりません。冬の大雪の時なども、BCP を活用した業務継続が必要になってきます。また、コロナ禍のように感染症拡大時なども同様です。 あらゆる場面を想定し、BCP マニュアルの見直しも行っていきたいと思います。

NPO 法人クローバー・サービス
京都府船井郡京丹波町橋爪桧山 53
■TEL (0771)88-5014 / ■FAX (0771)88-5017
■e-mail: info@cloverservice.or.jp
■ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.cloverservice.or.jp

クローバー・デイサービスセンター
京都府船井郡京丹波町橋爪桧山 41-1
■TEL & FAX (0771)88-0138
■e-mail: day@cloverservice.or.jp

facebook QR

認知症の祖母と共に過ごした日々を振り返る「介護記」
【写真は、おばあさんと僕、自然運動公園で（1979 年）】
塩田吉之（しおたよしゆき） クローバー・サービス職員

そばにいて観察からはじめる

本気で祖母の認知症と向き合う決意をしたが、何をどうしたらいいのかもわからず、とりあえずそばにいて、日頃の様子を観察することにした。

朝起きて、トイレで用を済ませ、顔を洗い、湯沸かしポットでお茶を入れ、仏さんを拝む。そして冷蔵庫からおかずや漬物を出してきて、炊飯器からご飯をよそい、食べ始める。大体決まった行動パターンだ。父は朝食にパンとコーヒー、テレビで朝の情報番組をはしごする。チャンネル権は父で、6チャンネルの朝のローカルニュース番組を見た後は、NHK の朝ドラ、そして日曜は【のど自慢】や【新婚さんいらっしゃい】を見て過ごす。そんな感じで、どこの家でもある風景だろう。祖母も父も歌番組が好きだった。父が障害を持ち、母が亡くなってからは、祖母は婿養子の父を自分の子供のように接するようになってきた。

信心深さから、新たな神様誕生

祖母は信心深い人でした。近所の方も未だに祖母のことをそう言われる。朝は仏さんに、般若心経を上げ（ちゃんとできていたかは不明）、神棚、庭の地神さんを拝み、家族一同の健康をお祈りしていた。そして、家のそばにあるお地蔵さんには、誰に頼まれたわけでもなく、朝・夕のお参りを長年欠かさず続けていた。私も幼き頃、祖母に手をつながれ、よく一緒に行ったものだ。

ただロウソクや線香の火は怖い（何度か仏間の畳を焦がしていた）ので、その様子も伺いながら、祖母の一連の朝のお参りを観察していた時の事である。台所の神様へ感謝の挨拶をしたかと思ったら、続いて「レンジの神様こんにちは」と、電子レンジに向かって手を合わせ、拝みだしたのである。

思わず吹き出してしまった。日本には八百万の神々がいるというが、まさかの近代的神様だ。観察していると、色んな発見があるものである。

徘徊はなく、ちゃんと戻ってくる

朝のお参りを済ませ、洗濯物も干し終わり、テレビに退屈しだすと、「○○ちゃん家行ってくるわ」と近所の家にお邪魔し過ごす時間も多かった。

ただ【松井秀喜と松たか子の仲人話】は相変わらずしていたので、変わったことをしたり、迷惑をかけていないか、気になって近所の人に聞いてみたが、「大人しくしたはるで」と言ってくれていたので、安心してお任せしていた。（実際のところはいろいろあったのかもしれないが…）それに、数十分から、小一時間すると、ちゃんと家まで戻っ

てくるので、そこはこちらも気が休まり、つかの間の休息でもあった。

上品だった祖母が下ネタを!?

地域の高齢者サロンで、毎週木曜日に行われるグラウンドゴルフにも祖母はよく足を運んでいた。曜日を忘れても、家のすぐそばの運動場なので、人が集まりだすと、祖母はそれに気づき出かけていた。

そんなある日、高齢者サロンの一人から祖母が最近よく下品な話をすると聞くようになった。いわゆる下ネタだ。昔はテレビでキスシーンなどがあっても、黙ってチャンネルを変えるような家庭で、そんな話が祖母の口から出たとは信じられなかった。

お風呂も自分で入れるが…

祖母は、お風呂も自分で入れていた。といっても祖母はカラスの行水で、湯船に浸かってもすぐ上がるタイプだった。ただ問題は上がってからだ。認知症の症状が進むにつれ、裸のまま出てきたり、恥じらうことがなくなった。正直こちらはそんなもの見たくもない。注意すると、紙パンツだけは履いて出てくるようにはなったが(笑)

塗り絵の裏に卑猥な絵を

祖母はデイサービスにも通っていた。ヘルパーさんはお客さん扱いで長続きしなかったが、デイは楽しいようで、喜んで行ってくれていた。

ある日、祖母がデイから持ち帰ってきた塗り絵の裏面を見たときに驚いた。そこには、男性器のような絵が描かれていて、上から大きく罰点をつけられていたのである。最近デイの職員からも、卑猥な絵を描くようになったとは聞いてはいたが、それを見てショックを受けた。そういったこともあり、デイでも迷惑をかけていないか心配になった私は、仕事が休みの日に、デイでの様子を見学させてもらうことにした。

祖母には黙ってデイに行くと、突然顔を出した孫に祖母は一瞬、なんで来たんや?という顔を見せたが、私が『授業参観や』と言うと、その後はこちらを気にせず、普段通りの時間を過ごしていた。塗り絵を早々に塗り上げたと思ったら、やはり裏に卑猥な絵を描こうとしていた…

「昔取った杵柄」これはいけるかも?

デイには何度か足を運び、様子を見たが、その日は針と糸を手に【刺し子】をしていた。祖母は、昔から内職でミシン仕事をしていたので、針仕事は得意であったが、『まだこんなこと出来るんや』と驚きながら、針仕事に集中する昔と変わらない祖母の姿を見て、『これはいけるかも』とひらめいた。

祖母が使っていた内職部屋にはまだ業務用ミシンがあり、母も縫製の仕事をしていたので針と糸、はぎれなどは沢山残っていた。それを手渡すと、家でも針仕事に熱中するようになった。針に糸を通すのは僕の役目であったが、そのおかげか問題行動も減った気がして、手先を使うことで【脳トレ】にもなり、一石二鳥じゃないかと喜んだ。

こうして観察をすることで少しずつ祖母のことを知ることはできたが、認知症という病気は難しく悩みは尽きないのだった…

くつろぎカフェ　参加者の声

クローバー・サービス主催のくつろぎカフェが開かれた。私は母の車で５時前に着いた。つむぎ菴に着くと、Ｔちゃん、Ａちゃんはもうすでに着席していた。

始まる前にＫさんのアコーディオンに合わせて歌を歌った。私は「歌っていいなぁ。」と言った。歌は良い。気持ちが明るくなる。

皆でカレーを食べた。「野菜カレー」あっさりとした美味しいカレーだった。付け合わせはサラダだった。つむぎ菴のスタッフと、ボランティアのＹさんとＳさんが作ってくださった。

デザートにはヨーグルトが出た。始め何も混ぜないで食べたらとてもすっぱかったので、ブルーベリーもジャムもぐるぐると混ぜて食べた。

Ｍちゃんのピアノが楽しみだったが、今日は無いようだった。食べ終わってしばらくして裏庭で花火をした。私は見るだけにしようと思っていたのだが、やっぱり誘惑に負けてしまった。手持ち花火をいくつかやった。裏庭は思いのほか涼しかった。

この集まりを企画運営してくださったスタッフの皆さんには感謝している。思い出のｌページの為に尽力くださり、準備、その他もろもろ…ありがとうございました！

これからもよろしくお願いします。

↑８月21日（金）つむぎ菴で開催した「くつろぎカフェの夕涼み会」に参加された方からのお手紙です。

次回「くつろぎカフェ」のお知らせ

■日時:　11月１日（日）11:00～14:30
■場所:　つむぎ菴（下大久保区）
■内容:　昼食会
※参加希望の方はクローバー事務所までお電話ください。Tel: 0771-88-5014

編集後記

気が付けばもう十月。この間まで「暑いなぁ」と言っていたのが嘘のよう。九月は雨ばかりで、稲刈りのタイミングにやきもきされた方もたくさんいらっしゃるでしょう。今年のお米の出来はいかがでしたか？もう新米食べられましたか？　▼我が家の新米は収穫量含めてまずまずの出来。早速炊いて、神棚とお仏壇にお供えしました。昔から祖母や母がやっていたのを引き継いで、毎年まず一番にお供えしています　▼年を重ねるにつれ親や、祖父母が「あの時、あんなこと言ってたなぁ」としみじみと感じることが増えてきました。年相応の悩みはもちろん…　最近気になるのが老眼。新聞の文字はまだ何とか読めるのですが、スマホの画面が明るい背景からか見えづらく、老眼鏡が必要です。それに加え、物の名前や、人の名前も出にくくなった気がして、ショックを受けています。今になってわかる親の気持ち。とはこういうことですね　▼ただそれを老化の一言で済ませてしまうのはさみしい気がするので、抗ってやろうと思います。【万の病は心から】などと昔からいいますし、気持ちだけでも若く、あの人いつまでも若いなぁ～。と言ってもらえるように！

〈編集子〉

<賛助会員>

（有）あさひ堂
（株）一谷住宅
イン・ザ・ルーム亀岡店
上段税理士事務所
（株）高木設備
たにやま鍼灸整骨院
田端輪業
（有）土佐寿司
（有）西村テレビ
三木歯科医院
みづほ電工

（五十音順）